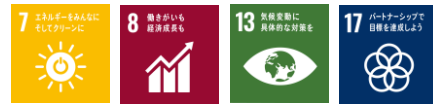


2022年3月31日
株式会社京葉銀行



「αサステナビリティ・リンク・ローン」の実行について

株式会社京葉銀行（頭取 熊谷 俊行）は、本日、イオンタウン株式会社（本社 千葉市美浜区、代表取締役 加藤 久誠 以下、イオンタウン）に対し、「αサステナビリティ・リンク・ローン」を実行しましたのでお知らせします。

「αサステナビリティ・リンク・ローン」は、お客さまがSDGs・ESG戦略における野心的かつ有意義な事業挑戦目標であるSPTs（※1）を設定し、SPTsの達成状況に応じて、金利などの融資条件が変動する仕組みの融資商品です。お客さまの目標達成に応じてインセンティブを付与することで、持続可能な経済活動および経済成長を促進し、お客さまのサステナビリティ経営の高度化と企業価値向上への貢献を目指すものです。

なお、本件は、株式会社格付投資情報センター（以下、R&I）（※2）より「サステナビリティ・リンク・ローン原則」に定められた要件への適合性評価を得ております。

（※1）Sustainability Performance Targets の略

お客さまごとに定めた社会の持続可能性に対する貢献度合いを測ることのできる年度毎の目標

（※2）セカンドオピニオンについては、R&Iのホームページをご参照ください

イオンタウンは、イオン株式会社連結のデベロッパー事業者で、全国に150店舗（※3）のショッピングセンター（以下、SC）を展開しております。また、以前より省エネ・創エネの取り組みや、再生可能エネルギーの活用を積極的に推進しており、イオンタウンSDGs宣言においても、2030年までにSCで使用する電力の100%を再生可能エネルギーに切り替えるという目標を設定しております。

今回イオンタウンは、使用電力のCO₂フリー化についてのSPTsを設定し、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを加速させるものです。

（※3）2022年2月現在

【イオンタウン株式会社の概要】

所在地	千葉市美浜区中瀬
代表者	加藤 久誠
業種	不動産業(イオングループのデベロッパー事業)
資本金	100百万円
従業員数	751名(2022年2月現在)

当行は今後もグループ一体となって、環境・社会課題の解決に資する取り組みを一層推進し、地域の持続的な発展に貢献してまいります。

以上



京葉銀行ではSDGsへの取り組みに関するニュースリリースに、「SDGs 17の目標アイコン」を標示しています。

【SDGs : Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)】

2015年9月に国連で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと。17のゴール・169のターゲットから構成される。